一・二級小型船舶操縦士学科試験

一　般　科　目

（問１～　問５０）

問題	A

受験番号	

【注意事項】

１．各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。

２．各問題の解答は、４つの選択肢のうちから１つだけ選ぶこと。

【二級受験者の受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無　し	一般科目 （問１　～　問５０）	１時間１０分
二級（１海里限定） 特　殊	交通の方法・運航 （問１３　～　問５０）	５５分

※　海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※　配点及び合格基準は、リーフレット（一・二級小型船舶操縦士試験について）を参照のこと。

一級受験者の受験科目及び試験時間は、上級科目の表紙に記載しています。

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問１　小型船舶で航行する場合の注意事項として適当でないものは、次のうちどれか。

（１）　周囲の水面と比べて白波が多く立っているところは、水面下に障害物や浅瀬が存在していることがある。

（２）　太陽の光を背にして航行していると、船首方向の他船や浮遊物が見えなくなってしまうことがある。

（３）　潮流の強いところでは、自身が思っている以上に速力が上がったり、下がったりしてしまうことがある。

（４）　絶えず自船の位置を確認しておかないと、知らず知らずのうちに危険な箇所に接近してしまうことがある。

問２　小型船舶の船長が、大型船の一般的な特性について知っておかなければならない事項として適当でないものは、次のうちどれか。

（１）　ブリッジからの視認性が良いため、周囲の小型船舶の動きを把握しやすい。

（２）　舵効きが悪いため、舵を取ってから変針するまでに時間がかかる。

（３）　緊急に機関を停止したときでも、すぐには停船できない。

（４）　狭い水道等では、他船を避けることができない場合がある。

問３　沿岸漁業に対する注意事項について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

（１）　養殖漁業の網やいかだは、見えにくい場合があるので注意する。

（２）　引き縄漁船の引き縄は、長さが数十メートルにも及ぶので、後方を横切る場合は注意する。

（３）　刺し網やはえ縄の周りには目印のブイや旗竿が浮かんでいるので、避けて航行する。

（４）　底引き網漁船は容易に進路を変えられるので、接近してきたら汽笛を鳴らして注意を促す。

問４　海中転落者のライフジャケット着用による生存率(着用していたことでどれだけ助かったか)は、どのくらいか。最も適当なものを次のうちから選べ。　　(海上保安庁統計資料より)

（１）　０％　　（２）　約20%　　（３）　約80%　　（４）　100%

問５　小型船舶の船長が行った次の行為のうち、法令に違反するものはどれか。

（１）　操縦免許証を短期間他人に貸与した。　　（２）　船舶検査証書を船内に備えて航行した。

（３）　船舶検査手帳を船内に備えて航行した。　　（４）　法定備品を船内に備えて検査を受けた。

問６　小型船舶の船長が考慮すべき事項として適当でないものは、次のうちどれか。

（１）　操縦者の免許と、乗船する船舶の両方に適合した航行区域内を航行すること。

（２）　交通量が多く、大型船も通航している航路においても、航路内を航行すること。

（３）　係留は、保管の契約または許可を受けた場所に行い、不法係留や無断係留はしないこと。

（４）　早朝や夜間に出入港するときは、周辺住民に迷惑をかけないよう、細心の注意を払うこと。

問７　小型船舶の船長が、出航前に確認しなければならない事項として適当でないものは、次のうちどれか。

（１）　係留ロープや船体の破損の有無　　（２）　暖機運転中のエンジンの状態

（３）　信号紅炎や消火器の作動状態　　（４）　当日の気象、海象情報

問８　事故発生時の処置について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

（１）　救助が必要な場合は、遭難信号を発し、付近の船舶に救助を求める。

（２）　通信により救助を要請する場合は、事故の発生位置等の情報を正確に伝える。

（３）　落水した場合は、衣服を脱いで身軽になり、体力の続く限り岸に向かって泳ぐ。

（４）　他の船舶の事故を目撃した場合は、可能な限り救助に向かう。

問９　小型船舶の船長の遵守事項について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。
（１）　酒に酔って正常な操縦ができない者に操縦をさせてはならない。　（小型船舶操縦者法）
（２）　航行中の水上オートバイに乗船する場合は、救命胴衣を着用しなければならない。
（３）　港則法に基づく港の区域を航行するときは、免許受有者が操縦しなければならない。
（４）　自身が安全だと判断すれば、遊泳者の付近で急回転してもかまわない。

問10　小型船舶操縦士の免許について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。
（１）　二人乗りの手漕ぎボートに乗るときには、免許は必要でない。　（小型船舶操縦者法）
（２）　大型船舶の免許（海技士免許）では、小型船舶の船長にはなれない。
（３）　外国人が日本国内において船長として小型船舶に乗船するときには、免許は必要でない。
（４）　エンジン付きの長さ５メートルのヨットに船長として乗船するときには、免許が必要である。

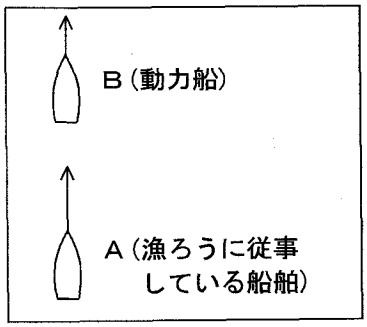
問11　初めて船舶を航行させるとき又は船舶検査証書の有効期間が満了したときに行う検査はどれか。次のうちから選べ。　（船舶安全法）
（１）　中間検査　（２）　定期検査　（３）　臨時検査　（４）　特別検査

問12　環境保全に関するルールについて述べた次の（Ａ）と（Ｂ）の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。
（Ａ）　海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律により、船舶からの油の排出が規制されている。
（Ｂ）　環境保全を目的とした条例により、船舶の航行水域や時間帯が制限されている場合がある。
（１）　（Ａ）のみ正しい　（２）　（Ｂ）のみ正しい　（３）　ともに正しい　（４）　ともに誤っている

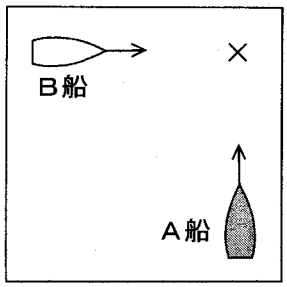
【交通の方法】

問13　接近する２隻の船舶に衝突するおそれがあるとき、互いに針路を右に転じなければならないのは、次のうちどの場合か。　（海上衝突予防法）
（１）　動力船と動力船が真向かいに行き会う場合
（２）　帆船と帆船が真向かいに行き会う場合
（３）　動力船が帆船を追い越す場合
（４）　帆船が動力船を追い越す場合

問14　右図に示すように、航行中のＡ船がＢ船を追い越そうとする場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。　（海上衝突予防法）
（１）　Ｂ船は、針路、速力を保ち、十分に注意して航行しなければならない。
（２）　Ａ船は、Ｂ船にできる限り接近して航行しなければならない。
（３）　Ｂ船は、できる限り減速して航行しなければならない。
（４）　Ａ船は、操業を一時止めて追越しを開始しなければならない。



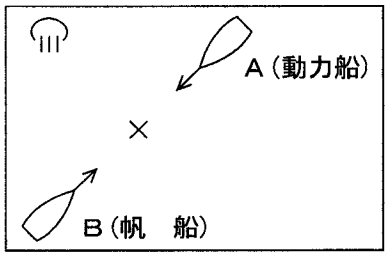
問15　右図に示すように、航行中の２隻の動力船が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるとき、Ａ船はどのような措置をとらなければならないか。次のうちから正しいものを選べ。
（海上衝突予防法）



（１）　そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
（２）　針路を右に転じ、右転時の操船信号を行う。
（３）　針路を左に転じ、左転時の操船信号を行う。
（４）　機関を停止して、Ｂ船の航過を待つ。

問16　避航船及び保持船の航法について述べた次の（Ａ）及び（Ｂ）の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。（海上衝突予防法）
（Ａ）　避航船は、他の船舶との衝突を避けるための針路又は速力の変更を行う場合は、できる限りその変更を他の船舶が容易に認めることができるように大幅に行わなければならない。
（Ｂ）　保持船は、避航船と間近に接近したため、その避航船の動作のみでは衝突を避けることができないと認める場合は、衝突を避けるための最善の協力動作をとらなければならない。
（１）　（Ａ）のみ正しい　（２）　（Ｂ）のみ正しい　（３）　ともに正しい　（４）　ともに誤っている

問17　右図に示すように、航行中の２隻の船舶が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。（海上衝突予防法）



（１）　ＢがＡの進路を避け、Ａは針路、速力を保持する。
（２）　ＡがＢの進路を避け、Ｂは針路、速力を保持する。
（３）　Ａは風上側に転舵して、Ｂは風下側に転舵する。
（４）　Ａ、Ｂともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。

問18　安全な速力について説明した次の文のうち、正しいものはどれか。（海上衝突予防法）
（１）　衝突を避ける動作がとれる速力　　（２）　自船の性能の半分の速力
（３）　対水速力12ノット以下の速力　　（４）　常に周囲の船舶より遅い速力

問19　船舶は、狭い水道では、やむを得ない場合を除き、どのようなことをしてはならないと定められているか。次のうちから選べ。（海上衝突予防法）
（１）　漁ろう　　（２）　並列航行　　（３）　他船の追越し　　（４）　錨泊

問20　夜間、航行中の対水速力を有しない操縦性能制限船（長さ12メートル以上）が表示しなければならない灯火は、次のうちどれか。ただし、○は白灯、●は紅灯、⊗は緑灯とする。（海上衝突予防法）

（１）　
（２）　
（３）　
（４）　

問21　昼間、漁ろうに従事している船舶が表示しなければならない形象物は、次のうちどれか。（海上衝突予防法）

（１）　
（２）　
（３）　
（４）　

問22　海上で行った次の行為のうち、海上衝突予防法の規定に違反しないものはどれか。

（1）　僚船に合図を送ろうとしたが、連絡手段が無かったので、赤色の手持ち炎火を振りかざした。

（2）　航行不能になったが、手元に適当なものが無かったので、船上で雑巾を燃やして救助を求めた。

（3）　遊覧船が近くを通ったので、左右に伸ばした腕をゆっくり上下させて挨拶をした。

（4）　錨泊して釣りを始めたが、手元に黒球が無かったので、国際信号旗のＮ旗とＣ旗を揚げた。

問23　航路における一般的な航法として誤っているものは、次のうちどれか。　（港則法）

（1）　やむを得ない場合を除いて、投錨してはならない。

（2）　他の船舶と行き会うときは、右側を航行しなければならない。

（3）　速力の遅い他の船舶があるときは、これを追い越して航行しなければならない。

（4）　他の船舶と並列して航行してはならない。

問24　特定港内に停泊中の船舶が行う長音５回の汽笛信号は、何を意味するか。次のうちから選べ。

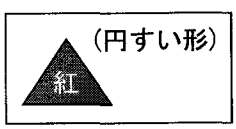
（1）　船舶に火災が発生し、警報を発している。　（港則法）

（2）　落水者が発生し、救助を求めている。

（3）　出港するため、水先人の乗船を求めている。

（4）　急病人が発生し、医療の援助を求めている。

問25　昼間、右図の標識を表示している船舶は、次のうちどれか。ただし、紅は標識の塗色を表す。　（海上交通安全法）



（1）　緊急用務を行う船舶　　（2）　危険物積載船

（3）　航路横断中の船舶　　（4）　工事又は作業中の船舶

問26　河川や湖沼における船舶の交通ルールについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

（1）　国土交通省が河川法に基づき、船舶の通航方法を定めている水域がある。

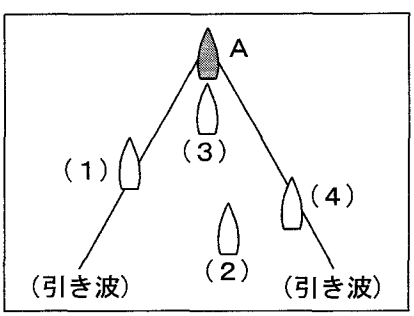
（2）　遊泳者の安全を確保するため、条例によって動力船の航行を制限している地方自治体がある。

（3）　都道府県条例や市町村条例には、交通ルール違反に伴う懲役や罰金などの罰則規定はない。

（4）　条例により、航行禁止区域や停留禁止区域を設けている地方自治体がある。

【運　航】

問27　右図に示すように、航行中の小型船舶Ａを追走するときは、どのあたりに位置して航行するのが適当か。図中（1）～（4）のうちから選べ。



問28　桟橋上のビットに係留する場合、ロープをビットに数回巻き付けてから係止する必要があるのはなぜか。次のうちから最も適当なものを選べ。

（1）　潮の干満の影響を防ぐ。　　（2）　ビットの損傷を防ぐ。

（3）　係留ロープの滑りを防ぐ。　　（4）　よりが戻るのを防ぐ。

問29　次のような船の状態のうち、復原力が減少していると判断できるものはどれか。

（1）　航行中の横揺れ周期が普段よりも短い。

（2）　冬季、寒冷地を航行中、船体に多量の着氷がある。

（3）　横風を受けても、普段より船体傾斜が少ない。

（4）　重い荷物を船底部に大量に積んでいる。

問30　河口付近を航行する場合の注意事項について述べた次の文の(　)の中に当てはまる語句として適当なものは、下のうちどれか。

「河口付近に設けられている漁港やマリーナの出入口付近では、水深が十分でないために(　)が発生することがあるので注意する。」

（1）高潮　　（2）津波　　（3）土用波　　（4）磯波

問31　小型船舶で水上スキーやウェイクボードを引く場合の注意事項として適当でないものは、次のうちどれか。

（1）スキーヤー(ボーダー)の技量にかかわらず、十分に余裕のある広い水域で行う。

（2）スキーヤー(ボーダー)と後方の見張りは同乗者が行い、操縦者は、前方の見張りに専念する。

（3）他の船舶には、トーイングロープやスキーヤー(ボーダー)が見えていない場合がある。

（4）スキーヤー(ボーダー)との意思の疎通は、あらかじめ決めておいたジェスチャーによって行う。

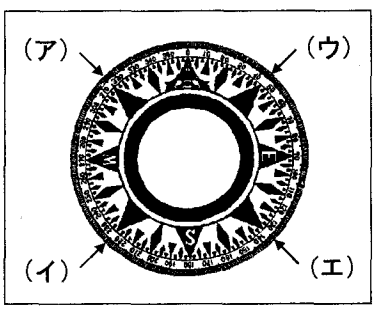
問32　右図は、磁気コンパスのコンパスカードを示したものである。方位「ＳＥ」(点画式)は、図中(ア)～(エ)のうちどれか。

（1）(ア)

（2）(イ)

（3）(ウ)

（4）(エ)



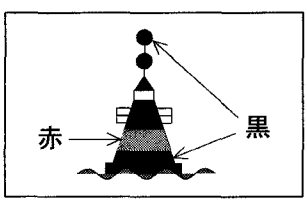
問33　２海里は何メートル(m)か。次のうちから選べ。

（1）1,820m　　（2）2,000m　　（3）3,218m　　（4）3,704m

問34　右図に示す灯浮標は、次のうちどれか。ただし、黒、赤は標体の塗色を表す。

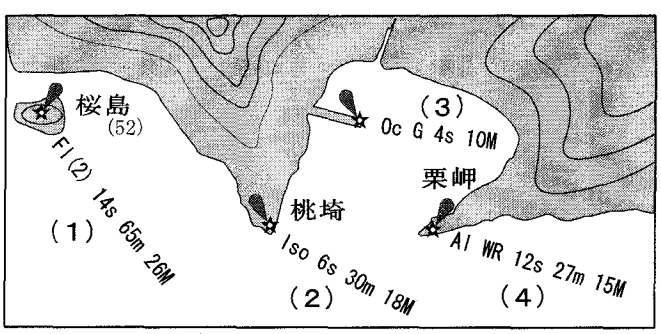
（1）右舷灯浮標　　（2）左舷灯浮標

（3）孤立障害灯浮標　（4）安全水域灯浮標



問35　右図は、海図の一部を示した略図である。以下の説明は、図中(1)～(4)のどの灯台の灯略記について示したものか。

「一定の光度を持つ光を一定の間隔で発し、明間と暗間の長さが同一のもの。」



問36　海図に記載されている高さのうち、最低水面を基準面として表すものは、次のうちどれか。

（1）山の高さ　　（2）灯の高さ　　（3）島の高さ　　（4）干出の高さ

問37　次の海図図式のうち、「最低水面すれすれくらいに現れる岩」はどれか。

（1）

（2）

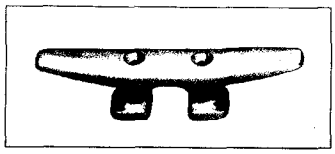
（3）

（4）

問38　右図に示す係船設備の名称は、次のうちどれか。

（1）　クリート　　（2）　バウアイ

（3）　ビット　　（4）　フェアリーダー



問39　太さの違う２種類のロープを結び合わせるには、どの結索方法が最も適当か。次のうちから選べ。

（1）　巻き結び(クラブヒッチ)

（2）　一結び(ハーフヒッチ)

（3）　８の字結び(フィギュアオブエイトノット)

（4）　二重つなぎ(ダブルシートベンド)

問40　出航前に点検した次の事項のうち、このまま出航するには適当でないものはどれか。

（1）　搭載品が固定されて移動しない。　　（2）　消火器の使用期限が切れていない。

（3）　船底にビルジがたまっていない。　　（4）　自己点火灯が船倉に格納されている。

問41　点火プラグの電極の状態として最も良好なものは、次のうちどれか。

（1）　黒く湿った状態　　（2）　きつね色に焼けた状態

（3）　真っ白に焼けた状態　　（4）　黒く乾いた状態

問42　エンジンオイルの役割について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

（1）　燃焼や摩擦によって発生した熱を取る。　　（2）　回転軸と軸受などの摩擦を少なくする。

（3）　燃料油の燃焼効率を上げる。　　（4）　シリンダーとピストンとの隙間の気密を保つ。

問43　ガソリンエンジンの始動及び運転操作について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

（A）　スターターモーターは回転するのにエンジンが始動しない場合は、スタースイッチを「ＯＮ」の位置に戻してから、リモコンレバーをフルスロットルにすると始動する。

（B）　リモコンレバーによるクラッチのシフト操作はできるだけ緩やかに行い、増減速の操作はできるだけ速やかに行う。

（1）　(A)のみ正しい　（2）　(B)のみ正しい　（3）　ともに正しい　　（4）　ともに誤っている

問44　４ストローク船外機のモーターボートで雨の中を航行中、エンジンは正常に動いているがワイパーが突然作動しなくなった。この場合、最初に確認する事項として適切なものは、次のうちどれか。

（1）　エンジンオイルが汚れていないかどうか。

（2）　ワイパーのヒューズが切れていないかどうか。

（3）　燃料フィルターに詰まりがないかどうか。

（4）　検水孔から冷却水が排出されているかどうか。

問45　エンジンオイルの交換目安について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

（A）　船舶の使用頻度が低くても、取扱説明書に定められた間隔で定期的に交換する。

（B）　発航前点検でエンジンオイルがかなり変色しているようであれば交換する。

（1）　(A)のみ正しい　（2）　(B)のみ正しい　（3）　ともに正しい　　（4）　ともに誤っている

問46　天気記号(日本式)とその天気を示した次の組合せのうち、正しいものはどれか。

（1）　◉ …… 霧　　（2）　⊗ …… 雨

（3）　● …… 雪　　（4）　◎ …… 晴　れ

問47　次の文は、どの前線について述べたものか。下のうちから選べ。

「この前線が接近すると積乱雲が発生し、前線が通過する際は短時間に強い雨が降り、ときには突風を伴う。前線通過後は気温が急激に下がり、風向が北寄りに急変する。」

（1）　温暖前線　　（2）　寒冷前線　　（3）　停滞前線　　（4）　閉塞前線

問48　潮汐について述べた次の文の（　）の中に当てはまる語句として適当なものは、下のうちどれか。

「潮汐とは、月と太陽の引力作用により、海面が上下する動きをいい、高潮から次の高潮までの周期は、一般に約（　）である。」

（1）　4時間　　（2）　6時間　　（3）　8時間　　（4）　12時間

問49　追い波を受けて航行する場合の注意事項として最も適当なものは、次のうちどれか。

（1）　ヨーイングが発生し、針路を保ちにくくなる。

（2）　変針するときは、舵をいっぱいに取る。

（3）　大きな追い波に乗ったら、速力をいっぱいに上げる。

（4）　できるだけ大きな船首トリムにする。

問50　航行中の小型船舶が浅瀬に乗り揚げた場合、まず第一にとらなければならない処置として最も適当なものは、次のうちどれか。

（1）　船体の破損状況を調べる。　　（2）　潮時と潮高を調べる。

（3）　船位を確認する。　　（4）　エンジンを停止する。